

組織にイノベーションの力を吹き込む。

アントレプレナーシップ教育と組織開発の融合で、 企業に新たな創造性と成長力をもたらす実践研究。

日本の大きな課題は、技術や人材に優れた既存企業からのイノベーション創出が少ないこと。それを打破するには、組織のアントレプレナーシップの文化醸成が不可欠です。本研究では、アントレプレナーシップ教育と組織開発を融合させた独自の実践研究で、この課題に取り組みます。対話を中心としたアプローチで、実践的なワークショップなどの手法を通じ、企業に新たな創造性と成長力をもたらす活動や研究を進めています。

研究代表者

牧野恵美

MAKINO Emi



立命館アジア太平洋大学
国際経営学部 准教授

「企業における対話と創造の場づくりをお手伝いすることで、組織と社会の持続的発展への貢献を目指します」

新規性・独自性

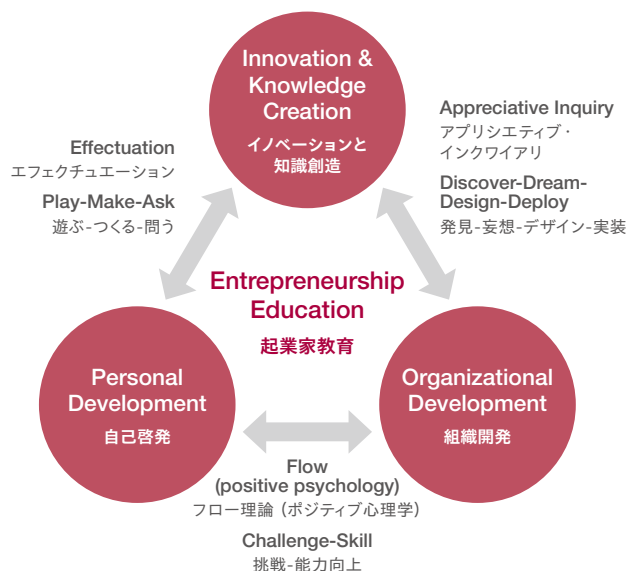
“対話”と“体験”で アントレプレナーシップを育む、実践的な取り組み。

本研究では、知識伝達だけでなく実践と対話を重視した独自のアプローチを展開しています。その特徴は料理づくりなど共同作業を通じて対話しながらアイデアを形にするワークショップに表れており、特にシャープの自動調理器「ホットクック」を活用した研修プログラムは、理論と実践を結びつける効果的な取り組みです。

「エフェクチュエーション」理論の起業家的思考法を組織開発に応用する実践研究や、東京大学本郷テックガレージやイタリアのファミリービジネスなどの先進的事例研究など、理論と実践の両面からアプローチすることで、新たな知見を生み出しています。

また、APUの多文化環境を活かし、異なる文化的背景を持つ学生と企業との協働によるイノベーション創出にも取り組んでいます。これらは従来の座学中心のマネジメント教育とは異なる実践的手法です。

研究代表者が実践研究するアントレプレナーシップ教育の概念図



社会連携に向けて

実践的プログラムの提供で、 組織のイノベーション力を高める。

本研究の実践的アプローチは、起業家を育てるだけでなく、既存企業において「社内起業家（イントラプレナー）」を育成し、多様な人材がそれぞれの強みを活かしながら協働することで組織全体のイノベーション力を高めることを目指しています。「企業向けアントレプレナーシップ研修プログラム」、「経営者・幹部向け組織変革プログラム」、APUの国際的環境を活かした学生と企業の協働、ものづくりを通じたイノベーション支援などで、企業との協働を進めています。

所属
学会

USASBE Academy of Management (AOM)
ECSB 日本ベンチャー学会

学術的
ポスト

和歌山大学国際観光学研究センター 研究員
日本エフェクチュエーション協会 フェロー
文部科学省 全国アントレ醸成促進事業 教育効果WG 有識者委員
内閣府 SBIR 制度加速事業分科会 委員

民間
ポスト

Monozukuri Ventures (京都のベンチャーキャピタル) 社外取締役
Arc & Beyond (ソニーグループが設立した一般社団法人) 理事
日本ママ起業家大学 アドバイザー 株式会社IRODORI アドバイザー

研究代表者は学内外で幅広く多彩な活動を行い、研究・実践・教育を融合させている。

